



# 洞爺協会病院 回復期リハビリテーション 365日リハ開始のお知らせ

## ●365日リハビリテーションへのあゆみ

洞爺協会病院は、昭和40年に北海道では初となる「脳卒中リハビリテーションセンター」を開設し、以来、全道から脳卒中や外傷後のリハビリ治療のため多くの患者さんが治療に訪れています。また、道内外リハビリ療法士育成施設の研修病院に指定されています。平成11年には通所リハビリテーション、平成18年には訪問リハビリテーションなどの在宅部門を開設し、退院後のフォローを充実させ、総合的なリハビリ治療を提供。平成20年には、リハビリ専門病棟「回復期リハビリテーション病棟」を開設し、発症から回復、家庭復帰への継ぎ目のない治療を提供しています。



## ●当院回復期リハビリテーションの特徴

回復期リハビリテーションとは、患者さんとそのご家族と共に医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等が連携し、共同で作成したリハビリテーション計画に基づき、発症早期に重点的に行なう総合的なリハビリテーションです。当院では平成24年10月より北大病院リハビリテーション科の支援のもと、室蘭以西の西胆振では初めて365日リハビリを開始しました。これにより、休日を含め毎日リハビリテーションを行うことができるようになり、患者さんの活動量を継続的に高め、寝たきりを予防し、身体機能を回復させ、早期の家庭復帰の可能性を高めることができます。



## ●回復期病棟の入院相談について

回復期病棟への入院相談については、地域医療福祉連携室の医療ソーシャルワーカー(MSW)にご相談ください。入院の可否、日程調整、入院後の対応等についてご相談させていただき、スムーズな転院調整を行います。

## 【回復期リハビリテーション担当医師・スタッフ】

医師／北大病院リハビリテーション科出張医師他数名

理学療法士／12名 作業療法士／11名

言語聴覚士／5名 病棟看護師／12名 (平成24年10月1日現在)

## ■沿革

- 昭和5年 愛国婦人会北海道支部洞爺湖温泉診療所創立
- 昭和17年 財団法人北海道社会事業協会附属洞爺愛国病院として継承
- 昭和38年 本会洞爺病院と改称
- 昭和40年 脳卒中リハビリテーションセンター設置
- 平成11年 通所リハビリテーション設置
- 平成15年 病院移転新築
- 平成18年 訪問リハビリテーション設置
- 平成20年 回復期リハビリテーション病棟開設
- 平成24年 365日リハビリテーションの開始



社会福祉法人北海道社会事業協会 洞爺病院

〒049-5605 北海道虻田郡洞爺湖町高砂町126番地  
電話0142-74-2555 FAX0142-74-2665  
<http://toya-hospital.jp>